

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun 稲雲

令和6年度 第22号

令和7年4月1日発行

発行者：校長 田中 朗裕



○「進級」を「節目」に ～修了式・修了証書授与式～

3月21日（金）に、令和6年度の「修了式」と「修了証書授与式」が行われました。「修了式」では、1～5年生と7・8年が、稲田学園の教育目標から1年間の自分を振り返りました。振り返りは、「次にもっとよくなるためにすることを見つける大切なこと」と、校長から話をしました。その後、表彰伝達があり、一人一人から受賞の感想が話されました。

6年生32名は、前期課程から後期課程に向けて決意をする「節目の日」として、保護者の皆様にご出席いただき、「修了証書授与式」に臨みました。6年生の決意がより確かなものになるように、副校長と校長からそれぞれ式辞を述べさせていただきました。一人一人から「立志のことは」も述べられ、感動の一日となりました。



○令和6年度の「離任式」を実施しました

3月28日（金）に、令和6年度の「離任式」を実施しました。今年度末の人事異動で11名の職員が稲田学園を離れることになりました。「離任式」では、昇任、異動、退職する先生方一人一人から、児童生徒に向けて「お別れの言葉」が伝えられました。涙を流す子どもがたくさんいて、これまでの児童生徒と先生方の関係性のよさ、絆の強さを感じることができました。

【令和6年度末人事異動で転・退職される先生方】

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| ○須田恵津子副校長先生（天栄村立牧本小学校長へ） | ○大河原康隆教頭先生（三春町立中郷小学校長へ） |
| ○小山悟先生（天栄村立天栄中学校教頭へ） | ○渡部愛美先生（南会津町立田島小学校へ） |
| ○板橋歩先生（天栄村立広戸小学校へ） | ○上遠野節子先生（須賀川市立第三小学校へ） |
| ○泉田洋介先生（鏡石町立鏡石中学校へ） | ○紺野絵梨子先生（須賀川市立第二小学校へ） |
| ○小針早希先生（郡山市立郡山第四中学校へ） | ○大河原美喜子さん（岩瀬学校給食センターへ） |
| ○福地千草先生（ご退職） | |



第4回「地域運営協議会・学校評議員会」を開催しました

3月17日（月）の18：00から、本校会議室において、今年度最後の「地域運営協議会・学校評議員会」を開催しました。はじめに、今年度の児童生徒の活躍の様子をお伝えし、その後、次年度の学校経営の方針についての説明をさせていただきました。会の最後には、参加いただいた皆様から、今年度を振り返ってのご意見やご感想をお聞きすることができ、次年度に向けて、多くの示唆をいただきました。今年度1年間、本校の教育活動にご支援をいただき、誠にありがとうございました。



○「ランドセル・ドライマτροφプロジェクト」完了

3月18日（火）の6校時に、6年生は、自分が6年間使ったランドセルをアフガニスタンに送るために、ランドセルと手紙を箱に入れる作業を行いました。6年間お世話になったランドセルをきれいに拭いて、段ボール箱に入れておいた背中は、少し寂しそうにも見えたが、自分のランドセルが次のステージで活躍するという願いを込めているようにも見えた。

そして、3月28日（金）の「離任式」の後に、6年生全員が稲雲ホールに集まり、全員でトラックへの積み込みを行い、アフガニスタンに向けてランドセルを見送りました。これで今年度のプロジェクトは完了となりました。



随想 令和6年度を振り返って

「ときめき」がある時間は過ぎるのが早いと言われています。今年度1年間は、まさにそれを体感することができた時間でした。新任校長として、大きな不安を抱えながら着任した4月から、子どもたちの明るさと、真面目さ、そして素直さに感激し、授業や様々な行事を通して成長していく児童生徒の姿に感動することができました。そしてそんな子どもたちを認め、励まし、支えながら成長させてくれる本校の職員にも感謝の気持ちでいっぱいでした。とにかく、出勤するのが「楽しい」という気持ち「ときめき」が1年間ずっと続いたことには、自分でも驚いています。

そして、運動会や鼓笛パレード、文化祭である「秋華祭」や「松明あかし」等の学校行事において、多くの保護者や地域の皆様のご協力とご支援をいただくことができたことにも感謝の気持ちでいっぱいです。特に、430年以上続く「松明あかし」への参加を通して、子どもたちが、様々な世代の大人たちと協働しながら「松明」を製作することができたことは、とても貴重な経験だと思っています。様々な場面で、保護者や地域の皆様から学校に寄せられる期待の大きさも実感できたことも校長としての「ときめき」でした。個人的には、五老山の山頂で燃える松明を見て感動したことが大きな「ときめき」でした。

令和7年度も「ときめき」にあふれた1年となるよう、児童生徒の「多様なウェルビーイング」の向上のため、先生方、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。